

# 国境の島ぶらり散歩

～ 巖原編 ～



# 目次

## 【観光】

雷命神社 p1	小茂田浜神社 p14	半井桃水館 p26	鮎もどし自然公園 p37
阿連の洞門 p2	上見坂壘砲跡 p15	巖原八幡宮 p27	保床山古墳 p38
阿連の白浜 p3	有明山 p16	李王家宗伯爵家御結婚奉祝記念碑 p28	雷神社 p39
阿連の星池 p4	山住神社 p17	池神社 p29	八丁郭 p40
法清寺 p5	乙宮神社 p18	旧金石城庭園 p30	多久頭魂神社 p41
銀山神社 p6	志々伎神社 p19	ふれあい処つしま p31	高御魂神社 p42
椎根の石屋根 p7	藩校日新館門 p20	立亀岩 p32	主藤家住宅 p43
御首塚 p8	陰陽石の魔除け石 p21	修善寺 p33	美女塚 p44
矢立山古墳 p9	長屋門 p22	清水山城跡 p34	豆酩板形海水浴場 p45
矢立山 p10	雨森芳洲の墓 p23	万松院 p35	
安徳天皇御陵墓参考地 p11	太平寺 p24	お船江跡 p36	
銀山上神社 p12	大歳神社 p25		
山形神社・十善神社 p13			

# 目次

## 【イベント】

- 小茂田浜神社大祭 p46
- 八幡宮神社大祭 p47
- 地藏盆 p48
- 万松院まつり p49
- 舟グロー大会 p50
- 朝鮮通信使行列 p51

## 【グルメ】

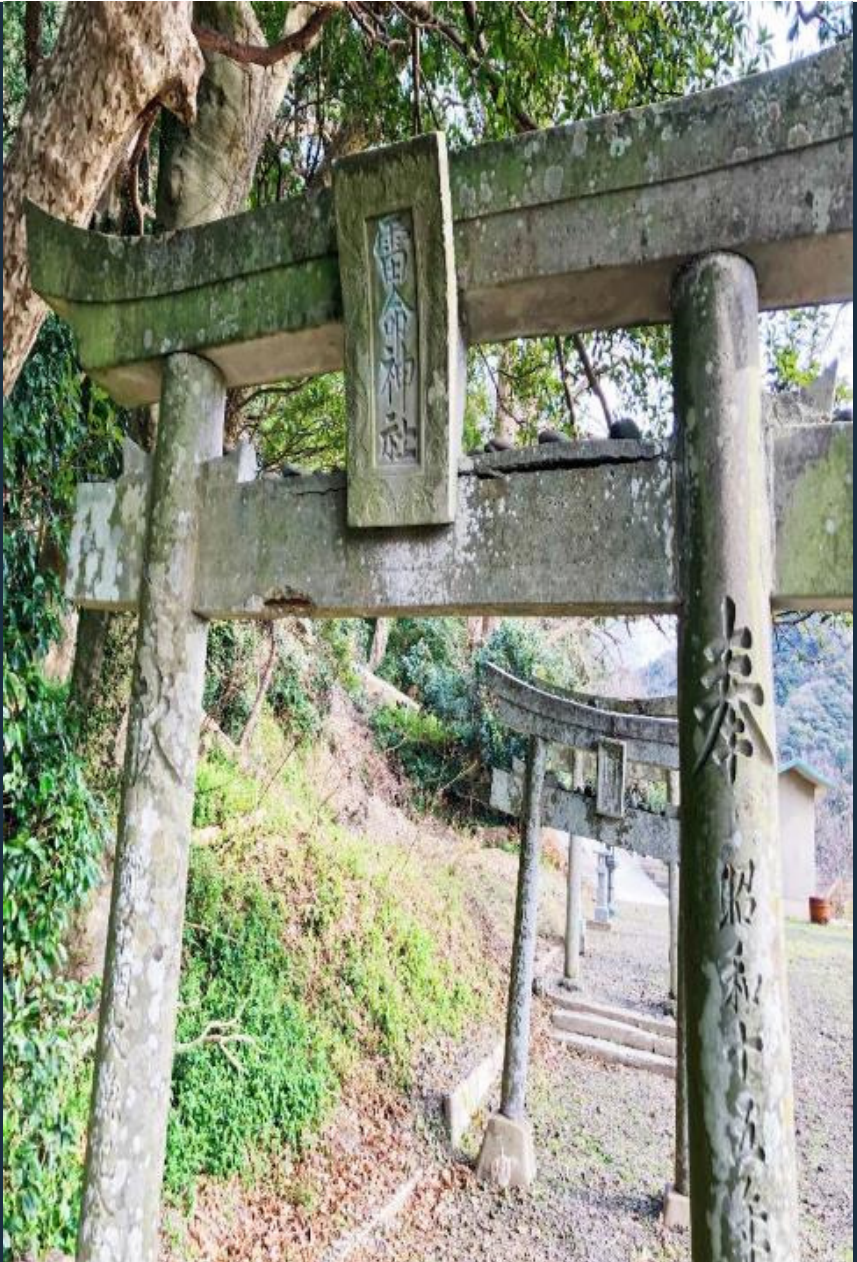
- うどん茶屋 p52
- 渡辺菓子舗 p53
- mammy p54
- 酒屋十志や p55
- かめちゃん p56
- つしにゃんキッチン p57
- ループルあさづま p58
- だいぜん p59
- 対馬バーガーKIYO p60
- めしや p62

- すし処橋 p62
- レストラン有明 p63
- 旬彩和らく p64
- 八丁 p65
- 味処千両 p66
- 対玄 p67
- すしやダイケー p68
- ダイニング波月季 p69
- Gcafe p70
- らん亭 p71

## 【お土産】

- スタジオビット（伊原商店） p72





## 【雷命神社】

対馬市厳原町阿連（あれ）

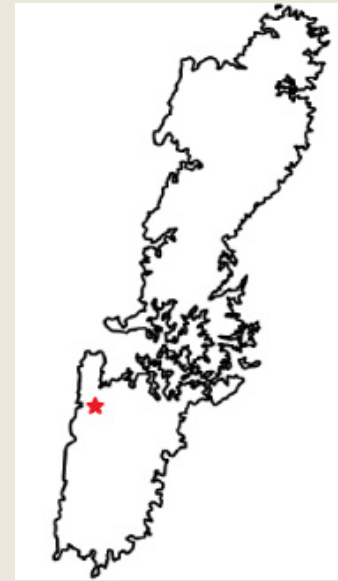
住所 対馬市厳原町阿連215

アクセス 厳原港から車で約35分

阿連に鎮座する「雷命神社」を紹介する  
ニャ～！

祭神は雷命（イカツチノミコト）で、神社は阿連側の河口近くに鎮座しているニャ！！上流にはオヒデリ（太陽神）という女神がいて、雷命が出雲に出かける神無月の間、里に下りて村を守ると言われているニャー！「対馬亀ト伝記」に、神功皇后に従って朝鮮に渡った雷大臣（イカツオミ）が、彼の地で亀トの術を習得し、帰途対馬にとどまって県直になり、ト部氏の祖となったという伝承があるニャ。やがて対馬の占い（亀ト）が大和に伝わったというのだニャ～

「阿連」という地名自体に大きな意味があって、「神婚」を意味しているのだニャ～！「アレ」とは「誕生」、すなわち神の誕生を意味する古語なのだニャ！



## 【阿連の洞門】

対馬市巖原町阿連（あれ）

住所 対馬市巖原町阿連

アクセス 巖原港から車で約30分

「阿連の洞門」を紹介するニャ！  
阿連漁港の南端から海岸沿いを歩いて約20分のところの岩場にぽっかりと大きな穴が開いているニャ～これは人の手によって掘られたものなのだニャ！！掘られたのは昭和7～8年頃のこと。阿連から小茂田に向かう道が悪かった頃、地元の人々は海岸沿いを歩いて行こうとしていたのだけど、どうしても通れないところがあったらしいニャン！そこを石屋の田代棟梁が手で掘り始め、弟子の山崎長吉さんが後を引き継ぎ、更には山崎さんひとりで洞門を掘っていると聞いた阿連地区の人達が協力して完成させたそうだニャ！！



## 【阿連の白浜】 対馬市厳原町阿連（あれ）

住所 対馬市厳原町阿連105

アクセス 厳原港から車で約35分、そこから徒歩約15分

真っ白でさらさらな砂浜はもちろんのこと、  
淡い青から濃い青へのグラデーションが美  
しい、阿連の白浜！！

透明度が高くて、魚が泳いでるのが見れた  
りもするニャン～

海の潮の香りもまた良くて、心身のリラッ  
クスに効果的な気がするニヤ

ここに行くまでにはちょっと山道を歩く必  
要があるけれど、息を飲むほどの絶景が  
待っているの、行く価値は十分にある  
ニヤ！！





## 【阿連の星池】 対馬市厳原町阿連

住所 対馬市厳原町阿連

アクセス 厳原港から車で約45分、そこから徒歩約30分

星池までの道のりはかなり難易度が高いので、僕は地元の人に連れて行ってもらったニャ！この星池について「津島記事」の中で、「昔、星が落ちて池となった。池は埋めて水田にしたが、その地はくぼんでいるため今なお当時の円形が残っている」といった記載があるそうだニャ～びっくりだニャ！星池は阿連の集落からひと山越えた場所にあるし、未舗装のガタガタ道が続くから、誰かの案内なしで行くのはちょっと大変かもニャ・・・この日は空は青いし、水は溜まっているし、ぽかぽか陽気だしで、最高のロケーションを楽しむことができたニャ！！





【法清寺（ほうせいじ）】  
対馬市厳原町檜根（かしね）

住所 対馬市厳原町檜根344  
電話番号 0920-56-0257  
アクセス 厳原港から車で約20分

対馬南部の西海岸、元寇の激戦地として名高い小茂田浜から佐須川を少し  
遡ったところの檜根にある「法清寺」を紹介するニャ！！  
本尊仏は対馬唯一の千手観音菩薩で、対馬六観音（豆酩・佐須・曾・三  
根・仁田・佐護）の中で最も美形で、最も古いと言われているニャ。  
像高約170cm、檜材の一木造で、平安時代末期の作だニャー！！  
他に堂内に14躰の木造仏があり、平安朝前期の貞観仏から後期の藤原仏ま  
で1ヶ所にこれほどの平安仏を蔵した所は他にないと言われているニャ～





【銀山神社】  
対馬市厳原町檜根（かしね）

住所 対馬市厳原町檜根281-1  
アクセス 厳原港から車で約20分

厳原町檜根に鎮座する「銀山神社」を紹介するニャー！！  
式内社・銀山神社の論社なのだけど、式内社・銀山上神社とする説もあるニャ～～  
境内には宗助国の「太刀塚」もあるニャ！！  
社名は、延喜式写本によって、「カナヤマ」「シロカネ」等があり、現在は「ギンザン」が  
普通となっているみたいだニャ。  
御祭神は諸黒神、村社で、例祭日は旧3月10日だニャー！





## 【椎根の石屋根】 対馬市厳原町椎根（しいね）

住所 対馬市厳原町椎根  
アクセス 厳原港から車で約25分

「椎根の石屋根」を紹介するニャ～  
石屋根の家は日本では対馬だけで、  
対馬でもこの椎根（しいね）や上  
槻（こうつき）、久根浜（くねは  
ま）、久根田舎（くねいなか）な  
ど、この近辺でしか見られない珍  
しい建物なのだニャー！！県の有  
形文化財にも指定されているニャ。  
古来穀物を中心とする食糧や日常  
生活用品を保管するために使われ  
てきたみたいだニャ～！板状の石  
が積み重ねられているその佇まい  
には、圧倒的な重量感と決して無  
視できない存在感があるニャ！！  
この椎根には5～6棟の石屋根の倉  
庫が残っているニャ！！



## 【御首塚】

対馬市厳原町下原（しもばる）

住所 対馬市厳原町下原

電話番号 0920-52-1566（対馬観光物産協会）

アクセス 厳原港から車で約20分

厳原町下原にある「御首塚」を紹介するニャ～～文永11年(1274年)蒙古の大軍を迎え奮戦したものの戦場の華と散ってしまった宗家二代目助国公の首をこの地に葬ったと伝えられているのだニャ。ちなみに御胴塚は檜根の法清寺にあるニャ！首と胴、2つの塚が別々にあるのもその悲惨な戦況をよく物語っているニャ。市指定史跡でもあるニャ～！変わった表情の狛犬もいたニャ！！





## 【矢立山古墳】 対馬市巖原町下原（しもばる）

住所 対馬市巖原町下原矢立  
電話番号 0920-54-2341（対馬市教育委員会 文化財課）  
アクセス 巖原港から車で約20分

T字形石室と言われる珍しい構造を持つ「矢立山古墳」を紹介するニャン！1号墳は東西5.2m、南北4.5m、高さ2.4mの墳丘に貼り石を施した3段築成の方墳だニャ。埋葬施設は長さ4.8mの横穴式石室で、金銅装大刀、木棺に使用された鉄釘、須恵器(すえき)片などが出土されているニャ！！2号墳は東西8.8m、南北10.5m、高さは2.5mを超える墳丘に貼り石を持つ3段築成の長方形墳で、T字形を呈する横穴式石室が特徴的だニャ。出土遺物は金銅装大刀、銅椀、須恵器の長頸壺などだニャ！2001年（平成13）に発見された3号墳は積み石塚で、段築は確認されていないニャ・・・



## 【矢立山】 対馬市厳原町上槻（こうつき）

住所 対馬市厳原町上槻  
アクセス 厳原港から車で約40分（登山口まで）

標高648.5mで対馬最高峰の山、「矢立山」を紹介するニャン！！  
かつては原生林だったのだけど、現在は周辺の伐採が激しく、またヒノキの植林に覆われているニャ。矢立林道を利用すれば、標高500m付近まで車で行くことができるニャ！



## 【安徳天皇御陵墓参考地】

対馬市厳原町久根田舎（くねいなか）

住所 対馬市厳原町久根田舎

アクセス 対馬空港から車で約50分

久根田舎にある「安徳天皇御陵墓参考地」を紹介するニャン!!!安徳天皇は平清盛の強引な後押しにより、生誕1ヶ月で皇太子に立てられ、翌々年にはわずか3歳で父・高倉天皇からの譲位により即位したのだニャ~!安徳天皇は1185年、源平合戦の最終決戦となった壇ノ浦の合戦で敗れた平家一門と運命を共にし、海中に没して亡くなったとされているニャ。しかし『醍醐雑事記』には「先帝行方不明」とあり、『玉葉(ぎょくよう)』でも「旧主御事、分明せず」とされていることから、実は安徳天皇は壇ノ浦から密かに脱出して生き延びたという伝承が西日本各地に残されていて、全国には安徳天皇陵とされるが場所が十数ヶ所あると言われるニャ!対馬を平定した宗重尚(しげひさ)が、筑前吉井から安徳天皇を迎い入れ御所を営んだのがこの久根の地で、天皇は1251年4月5日に74歳で崩御したと伝えられているニャ!





【銀山上神社】  
対馬市厳原町久根田舎（くねいなか）

住所 対馬市厳原町久根田舎507  
アクセス 対馬空港から車で約50分

厳原町久根田舎にある「銀山上神社」を紹介するニャン！  
厳原町久根田舎は、対馬最高峰・矢立山（649m）を源とし、西海岸の久根浜に流れる久根川中流域に位置する集落なのだニャン！！古名は「大調」（おおつき）で、調（税金の代わりに納める特産品）として朝廷に銀を献上していたことにちなむのだニャ。社殿は立派で、苔むした参道が美しいニャ～～境内に、式内社の都々地神社（矢立山遥拝所）があるニャン！





【山形神社・十善神社】  
対馬市厳原町久根田舎（くねいなか）

住所 対馬市厳原町久根田舎  
アクセス 対馬空港から車で約50分



この神社は、前で紹介した「銀山上神社」の境内社だニヤ！！日本書紀に「674年に対馬で銀が産出され、日本で銀を産した始まり」と記されているニヤ～～1019年に刀伊の入寇（中国満州の女真族が賊船50艘3000人で対馬、壱岐、博多を襲った）の際に、銀山が襲われ損害を受けたのだニヤ。安徳天皇は壇ノ浦の戦いで敗れ、崩御したと言われるのだけど、この久根地区では、安徳天皇は対馬に逃れて生き延び、対馬島主、宗氏の始祖であると信じられ、銀山上神社に祀られているのだニヤン～祭神諸黒神は室黒神とも呼ばれ、鉾山の開発に当たって、朝鮮半島から渡来した技術者がもたらした神だとされているニヤ！！

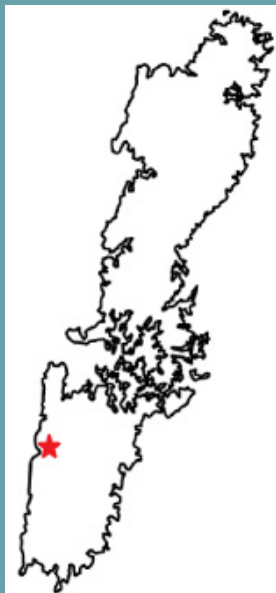


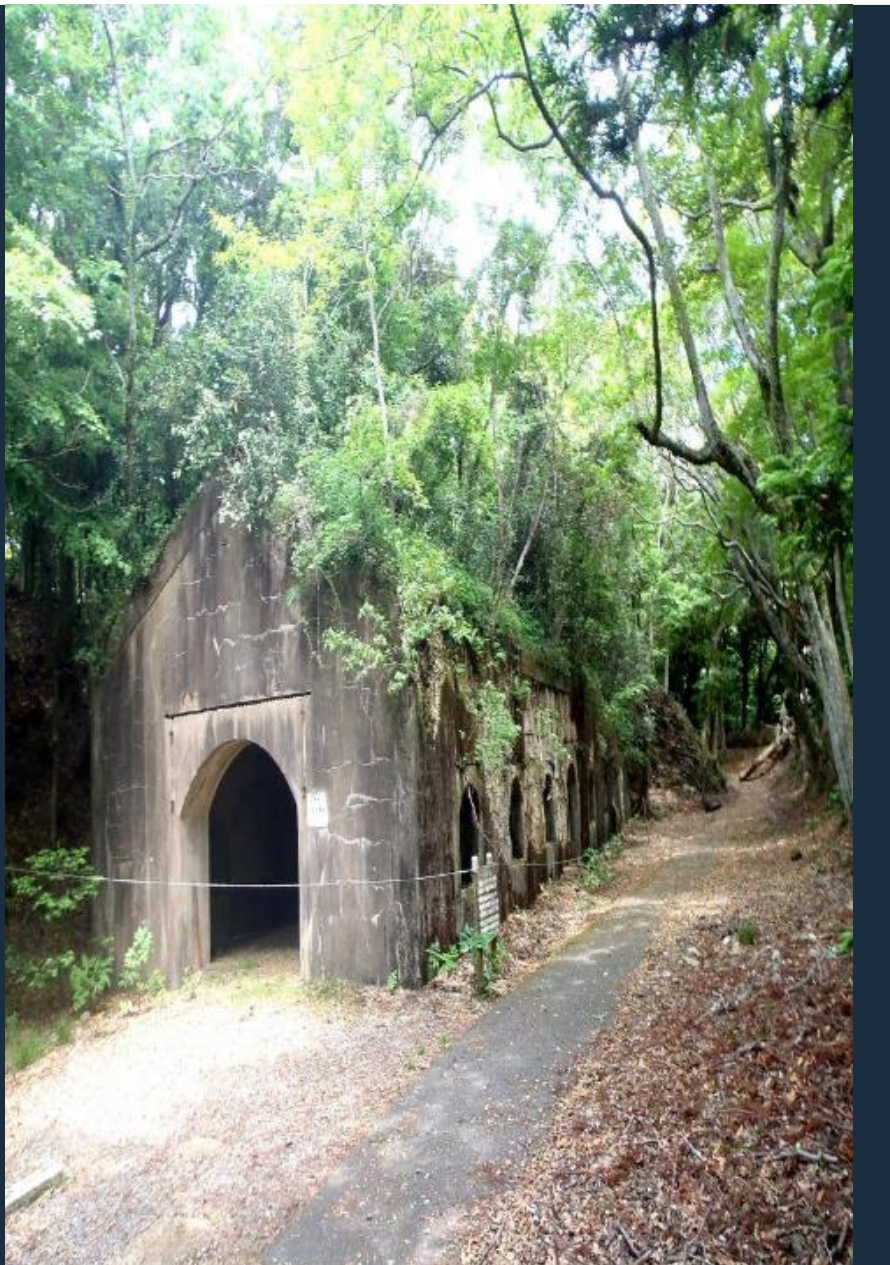
## 【小茂田浜神社】

対馬市巖原町小茂田

住所 対馬市巖原町小茂田742  
アクセス 巖原港から車で約25分

文永11年(1274年)、対馬の西海岸にある小茂田浜は元・高麗連合軍の軍船で埋め尽くされたニャン！その際、守護代宗助国(すけくに)はじめ、防戦した人々の霊がここに祀られているニャ！小茂田浜神社大祭というお祭りが毎年11月の第2日曜日に開催されて、武者行列や弓射り等が行われるニャ～～





## 【上見坂墨砲跡】 対馬市巖原町北里

住所 対馬市巖原町北里  
アクセス 巖原港から車で約25分

対馬はいたるところが自然公園  
になっているニャ！！自然公園  
法という法律で決められた、芝  
生広場や展望台、休憩所などを  
まとめて、園地と呼ぶニャ～今  
回はその中の1つ、上見坂園地  
を紹介するニャ！上見坂園地か  
らの眺めの特徴は、白嶽と浅茅  
湾がきれいに見えるところだ  
ニャ～～奥には明治後期に建て  
られた兵舎跡が残っていてなか  
なかの見ものだニャ！ちょっと  
遠回りして上見坂園地まで足を  
のばしてみてはいかがかニャ～





## 【有明山】 対馬市厳原町下原

住所 対馬市厳原町北里  
アクセス 厳原港から車で約25分

有明山は万葉集にも詠われた名山なのだ  
ニャー！

対馬の嶺は 下雲あらなふ 可牟の嶺に  
たなびく雲を 見つつ偲はも  
(万葉集・巻14・3516)

「有明山」という名称は、有明(=夜明け)の月が明け方、この山に懸かるのを国府(厳原)から望むことができたことに由来するらしいニャン！厳原町から2時間程度で山頂に立てちゃうから、子どもや登山初心者にもおすすめだニャ！登山の途中では豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に築いた清水山城の遺構も見ることができるニャ！





【山住神社】  
対馬市厳原町曲（まがり）

住所 対馬市厳原町曲16  
アクセス 厳原港から車で約15分

「山住神社」を紹介するニャン～～

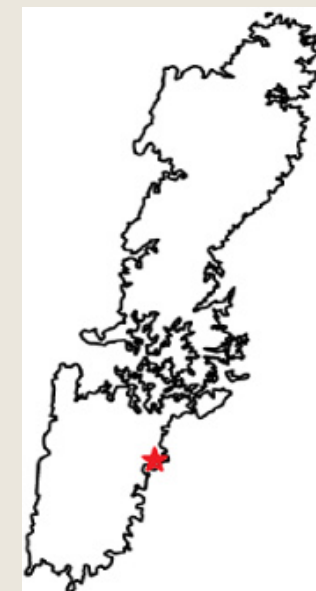
主な御祭神は大山祇神(おおやまつみのかみ)と言われているニャー！

御利益は、林守護、漁業守護、鉱山業守護、醸造守護などと言われるニャ～

鳥居をくぐって、右に向くと拝殿があるニャ！！

拝殿の左横に急な石段があって、そこを登ると本殿が見えるニャ～～

拝殿に向かって参拝すると、本殿に向かわない形になるニャ！珍しい造りだニャ！



## 【乙宮神社】 対馬市厳原町南室

住所 対馬市厳原町南室209  
アクセス 厳原港から車で約10分

厳原町南室に鎮座する「乙宮神社」を紹介するニャー！ 登り口に由緒書きがあるニャー～ 上代の海宮とは対馬のことをいい、仁位和多津美の宮はその神跡だニャ。豊玉彦命はその神跡に宮殿を造り、一男二女をもうけたというニャー。穂高見命、豊玉姫命、玉依姫命のことだニャ！！ 山裾から狭い石段を登ると社殿があるニャ。摂社は本殿の背後の斜面に建っているのだけど、近付けないニャ・・・





【志々伎（しじき）神社】  
対馬市巖原町小浦

住所 対馬市巖原町小浦308  
アクセス 巖原港から車で約15分

小浦にある「志々伎神社」を紹介するニャ！勸請年暦は不詳で、御祭神は海上導の神・安産の神である豊玉姫命、日本武尊の皇子である十城別王命（ときわけのみこ）、そして天忍人命（あめのおしひとのみこと）だと言われるニャ～肥前国松浦郡の同名社を勸請したものと考えられているニャ！ちなみに東京・台東区に鎮座する鳥越神社にある“志々岐社”はこの対馬国の「志々伎神社」から勸請されたという珍しい境内社だニャ！



【藩校日新館門】  
対馬市厳原町棧原

住所 対馬市厳原町棧原52-1

アクセス 厳原港から車で約6分

幕末の一時期、対馬藩尊王攘夷派の拠点となり、わずか9か月でその使命を終えた「藩校日新館門」。軒高3.95m、間口9.06mの巨大な門構えだニヤ！！宗氏の中屋敷門であった館門は、幕末における大名家の格式を備えた武家屋敷門として県の有形文化財に指定されているニヤ！！当時の館舎は残っていないけれど、裁判所の改築工事のため、解体・保存されていた館門が平成5年3月に復元され、当時の面影を今日に伝えているのだニヤ～





## 【陰陽石の魔除け石】 対馬市厳原町宮谷

住所 対馬市厳原町宮谷  
アクセス 厳原港から車で約6分

「陰陽石の魔除け石」を紹介する  
ニャ～～「陰陽石」とあることか  
ら忌むべき方角に二つの石を祀  
り、家運と子孫繁栄を願ったも  
のと考えられるニャ！外敵や賊  
から守るため外壁に武者を隠し  
た由来から「武者隠し」とも言  
われるニャ～！





## 【長屋門】 対馬市厳原町宮谷

住所 対馬市厳原町宮谷224

アクセス 厳原港から車で約6分

対馬振興局の敷地は、江戸時代に宗家から出た氏江（家老）家の屋敷跡だニャー上部は白壁造りの大きな石垣に囲まれ、大通りに面した長屋門や邸内には庭園の一部も残り、今もって家老クラスの屋敷であったことが一目でわかるニャ！！氏江家に下賜される前は、藩主の中屋敷であったとも言われているニャ～第9代藩主義蕃（よししげ）公がまだ如苗（ゆきなり）と称し、氏江家を継いで氏江主水と名乗り、第8代義如（よしゆき）公の家臣の地位にあった時に、この屋敷に居住していたのだニャ！！





## 【雨森芳洲の墓（長寿院）】 対馬市厳原町日吉

住所 対馬市厳原町日吉313  
電話番号 0920-52-0846  
アクセス 厳原港から車で約6分

対馬藩の儒者である雨森芳洲は、朝鮮との「誠信之交」を信条とする善隣外交の方針をまとめたことで有名だニヤ～～1689年に対馬藩に出仕し、朝鮮語・中国語の習得に励んだそうだニヤ！釜山にあった倭館への渡海や、来日する朝鮮通信使の随行も務めるなど、対朝鮮外交の第一線で活躍した人物だニヤン！！





【太平寺】  
対馬市厳原町中村

住所 対馬市厳原町中村621  
電話番号 0920-52-3376  
アクセス 厳原港から車で約5分

太平寺の創立は貞治6年（1367年）小弐頼尚（よりひさ）の命により、中村宗香(仁位宗香)が建立したというニャ！！

宗香は4代島主経茂（つねしげ）の弟で「総代官」を称していたのだニャ～

本尊は釈迦如来で、筑前から勧請したと伝わる南北朝時代の地蔵菩薩が安置されているニャ！！

筑前を本拠とした小弐氏と関係の深い寺みたいだニャン！

また、梵鐘も県指定有形文化財に指定されているニャ～～





## 【大歳神社】 対馬市厳原町中村

住所 対馬市厳原町中村565  
アクセス 厳原港から車で約5分



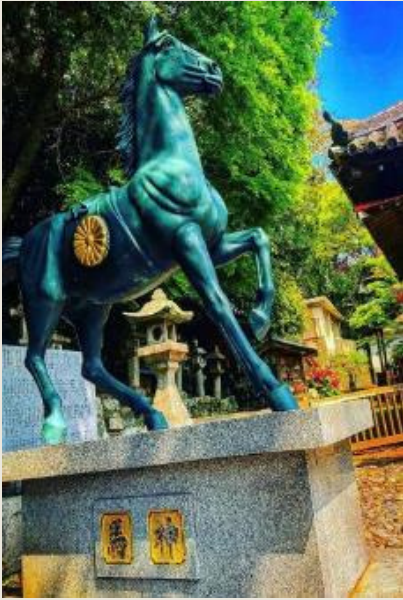
祭神の大歳神は穀物神（商売繁盛！）とされ、お正月に来訪する神として全国に祀られているニャ～～興津彦神（おきつひこのかみ）、興津姫神（おきつひめのかみ）はこの大歳神の御子で、興津彦神は「火の神護神」、興津姫神は「竈の神」と言われ、火から守ってくれる神として古くから人々が厚く信仰した神様なんだニャ！1687年に笠淵であった大火事を機に防火の神として今の場所に遷座されたみたいだニャ！

【半井桃水館】  
対馬市厳原町中村

住所 対馬市厳原町中村584  
電話番号 0920-52-2422  
アクセス 厳原港から車で約5分

ここは樋口一葉の師匠だった半井桃水が幼少期を過ごした場所だニャ!!!  
彼は朝鮮事情と朝鮮語に通じた最初の釜山駐在記者として活躍した人物だニャー入館料無料! 国内外からの観光客も多くいらっしゃるニャ!!!  
ちなみに、明治時代の有名芸鼓「洗い髪のお妻」や大相撲力士で大関の「対馬洋」の等身大パネルなど対馬出身の有名な人の資料も見ることができるニャ!





## 【巖原八幡宮】 対馬市巖原町中村

住所 対馬市巖原町中村645-1  
電話番号 0920-52-0073  
アクセス 巖原港から車で約5分

巖原八幡宮は、式内名神大社（日本の律令制下において、名神祭の対象となる神々を祀る神社）であった和多都美神社から社号が変わった神社だと推測されるニャ～！八幡宮といえば、前三神を八幡大神として祀っている神社が多いけれど、巖原八幡宮では主神が五神も祀られているニャ!!! 宝物館には対馬藩宗家に関する重要な歴史資料が展示されているニャー！

